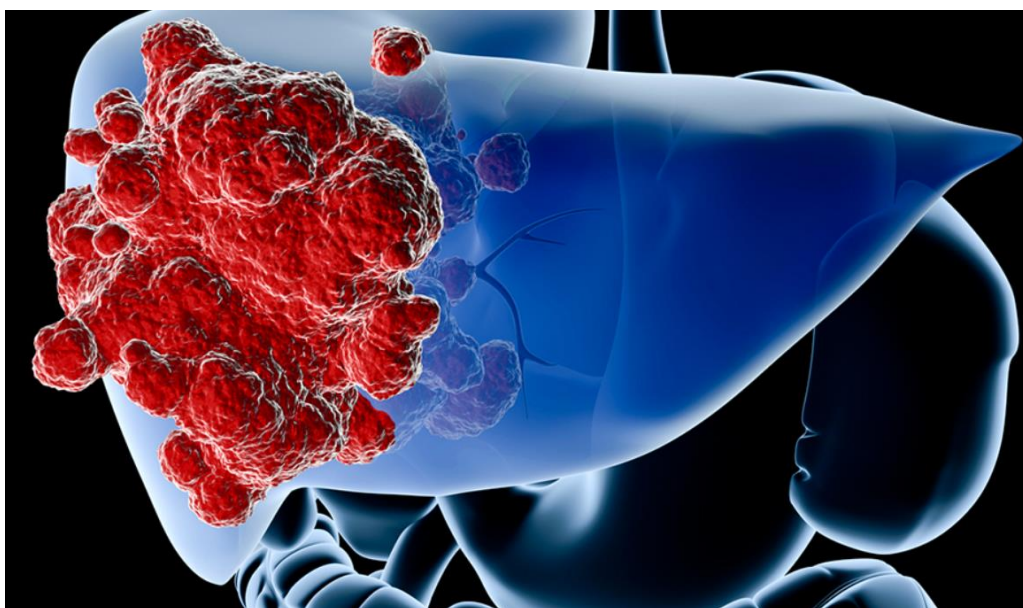


# 肝細胞癌に対するサイラムザの有効性

1 次治療としてソラフェニブの投与を受けた進行肝細胞癌（HCC）に、抗 VEGFR-2 抗体サイラムザ（一般名・ラムシルマブ）の投与が有効であることが、2 件のフェーズ 3 試験のプール解析の結果示され、ESMO 20th World Congress on Gastrointestinal Cancer（WCGC2018）で、Andrew X. Zhu 氏によって発表されました。



プール解析は、1次治療としてソラフェニブの投与を受けた AFP 高値の進行肝細胞癌にサイラムザの投与が有効であることを示したフェーズ3試験 REACH-2 と、その基になった試験である REACH 試験で AFP 値が 400ng/mL 以上だった 250 人を合わせた 542 人の結果について行われました。



プール解析の全生存期間中央値はサイラムザ群が8.1 カ月、プラセボ群が5.0 カ月、ハザード比0.694（95%信頼区間：0.571-0.842）、 $p=0.0002$  と有意にサイラムザ群で良い結果となりました。

